



がっこうだいすき
杉っこ通信

杉の子特別支援学校だより
平成28年度3学期号
2月24日 発行



小学部の紹介



小学部が大事にしていること

「安心し、やる気や笑顔があふれるような学校」をめざし、教育活動にとりくんでいます。

教育活動で大切にしている内容は、「からだづくり」、「生活スキルの獲得」、「コミュニケーションスキルの獲得」です。モチベーションの向上につながる「余暇」の指導も大切にしています。

実践紹介で～す♪

からだづくり

一日の前半は、からだづくりの学習がメインです。B課程は「朝のかけ足」「すぎのこタイム」、C課程は「からだ」の時間が毎日あります。

「からだづくり」の時間を過ごすことで、姿勢や手指の動きがよくなります。その後の授業の集中力もググッと高まります(^_^)v。



1月に行ったダンボール迷路



高学年部の「買い物ごっこ」

生活スキルの獲得

「生活スキル」は、全ての学習、時間で取り組んでいます。登下校時の身の回りの処理、授業での準備・片づけ、係りの仕事、給食など。生活の中には、学習の機会がたくさん。

「生活単元学習」の学習では、園芸活動、調理、買い物、散歩、上靴洗い等、直接生活に関する内容を学習しています。

コミュニケーションスキルの獲得

「コミュニケーションスキル」も、全ての学習、時間できれ取り組んでいます。「自分の思いを相手に伝える」ことが基本になります。

授業の中では、「選択」「援助の要求」「応答」場面をたくさん設定しています。

思いが相手に伝わると、子どもの笑顔が溢れます。



「すてきなぼうし屋さん」での選択学習

中学部

☆初もうで

新年を迎え、最初の散歩は、加佐登神社に。手水場で手を洗って、境内を散策しました。新しい年も、元気に楽しく過ごせますように。



☆調理実習



ホットケーキ



さつまいものバター焼き



金曜日の生活単元学習を中心に調理実習を行っています。

それぞれプリントで材料や道具、作り方など確認してスタート！みんな大好きな活動です。

2年生（4・5組）は自分たちで育てた大根を使ってのおでんパーティー！大根ってこんなにおいしかったんだ！



ダイコンの収穫



おでんづくり

☆雪あそび



雪がいっぱい降り、みんなで雪あそびをしました。雪だるまを作り、雪の冷たい感触を楽しみました。

☆書初め

新年の決意をこめて、書初めをしました。



高等部の紹介

高等部は、卒業後の生活を見据え、「生徒の生きる力を育み一人ひとりが輝ける学部」をめざして、日々の教育活動に取り組んでいます。今回は12月・1月の学習の様子を紹介します。

校外学習 12月にC課程全員でイオンモール東員に出かけました。あちこちに飾られたツリーやディスプレイがピカピカと光り、クリスマスムード色のにぎやかな店内で、食事や買い物を楽しみました。買い物中に店員さんから声をかけられたり、レジで代金を支払ったりする場面などがあり、貴重な体験ができました。

サンタさんのカチューシャ、似合ってるかな？



男子はお店のお姉さんとちやっかりパチリ!(^^)!

大きなツリーに感激♡



雪景色 3学期に入って何度か大雪が降り、生徒たちは一面真っ白の珍しい光景と寒さにびっくりしながら登校することがありました。雪だるまを見たり、冷たい雪に触れてみたりして、冬の季節を肌で感じる体験ができました。



白い雪がまぶしく感じるわ・・・



雪もいいねえ・・・❄️



これは何？うわ～冷たいよ～！

クリスマスプレゼントをいただきました

2学期の終わりに、イオン鈴鹿からサンタさんが学校に来てくれました。みんなが楽しく遊ぶおもちゃをたくさんいただきました。また、放課後等デイサービスの事業所さんからは大きなバンパーボールをいただきました。バンパーボールはバブルサッカーをするための用具ですが、杉の子では違った使い方もできます。どちらのプレゼントも授業や休み時間に大活躍です。ありがとうございました。



石薬師分校

職業の授業に取り組んでいます

開校7年目の石薬師分校は、高等部の生徒達が学んでいる学校です。高等部での学習は、卒業後の生活を見据えて職業を中心に取り組み、体育や音楽、数学や国語なども週に1時間ずつ取り入れています。今回は、職業の授業についてお伝えさせていただきます。

職業は「ものづくりコース」「流通サービスコース」の2コースを設け、月曜日から木曜日、2限目から4限目の週12時間の授業です。「ものづくりコース」は、農業班・食品加工班・さをり班・組紐班・一閑張ビーズ班・木工班・基礎班の7つの作業班で、「流通サービスコース」は、トータルメンテナンス（清掃、紙漉き）・コンピュータ・オフィスワーク（バリ取り、在庫管理）の3つの内容で学習を進めています。授業のより良い方向の検討を進めてきた結果、来年度から「ものづくりコース」では班を3学年縦割り、学習期間を1年、「流通サービスコース」は、木曜日に3学年縦割りを取り入れるシステム変更に至りました。

生徒達は、職業学習の中で技術面だけでなく、挨拶や指示をしっかり聞くこと、報告することなどを行うことで集中力や持続力が増し、意欲的に取り組んでいます。その生徒達が製作した製品の一部です。ご覧ください。



短歌を出品しました

石薬師分校の三年生の国語の時間に、「短歌」の創作の授業に取り組みました。授業では、短歌のとは、五・七・五・七・七の「みそひともじ」三十一音で表現する定型詩であること、和歌と呼ばれ万葉の昔からあったこと、気持ちを表現する手段であったことなどを勉強しました。

そして、歌人・国文学者として大きい足跡をのこした佐佐木信綱先生のことを知り、第45回佐々木信綱顕彰歌会の短歌募集に応募しようと、創作活動に取り組みました。初めは、「三十一音では短すぎる」や「どんな言葉で詠んだらいいかわからない・・・」と、戸惑う姿も見られましたが、夏休みをはさんで、夏の思い出などを短歌で表現するようにすると、素直な気持ちをストレートに表したたくさんの短歌を創作してくれました。一人一首、一番素敵な作品を選んで出品させてもらいました。短歌を楽しく創作できたと感じています。

審査の結果、石薬師分校から2名の生徒の作品が「佳作」に入賞することができ、本人たちもとても喜び、自信につながりました。今後も、国語の時間に短歌の創作に取り組み、石薬師に縁のある佐佐木信綱顕彰歌会に出品できるように創作活動にも取り組んでいきたいと考えています。

